

2 児童文化部

1 行事及び活動内容

(1) 会議

○ 児童文化部長・運営委員合同会

第1回 6月14日(金) 平成25年度児童文化事業の運営について

第2回 11月5日(火) 文化展作品の撤去

第3回 1月28日(金) 本年度の反省と次年度の行事計画について

○ 運営委員会

第1回 6月14日(金) 平成25年度児童文化事業の運営について

第2回 10月31日(木) 文化展作品の展示(会場設営)

第3回 11月5日(火) 文化展作品の撤去

第4回 1月28日(金) 本年度の反省と次年度の行事計画について

(2) 天草郡市児童・生徒文化展(描画・毛筆・硬筆・科学・発明・壁新聞・特別支援学級)

○ 場所 天草教育会館

○ 期日 11月1日(金)～11月4日(月)

※会場設営は10月31日(木)・作品撤去は11月5日(火)

(3) 天草郡市小・中学校音楽会

○ 場所 天草市民センター

○ 期日 11月13日(水)

※平成21年度から午前小学校、午後中学校の音楽会として一日で実施している。

(4) 天草郡市中学校英語発表会

○ 場所 天草市立稜南中学校

○ 期日 10月15日(火)

2 反省及び要望

※ 描画

これまで各部会・支部ごとに審査を行ってきたが、今年度は、各学校から出品された作品を一堂に集め、複数の審査員により各学年30点を選出するという方法で審査を行った。

各学校から郡市に出品する作品を学年毎に人数の1割分だけ選出し、各部会・各支部の文化部長がまとめ提出。小・中学校それぞれ10名ほどの審査員が協議しながら審査。その後、審査員で展示用にラベルや作品評を貼付するという流れで行った。

成果は、各部会・各支部の負担が軽減されることや複数の審査員の協議による審査のため、選出の傾向が偏りにくいことなどである。課題は、審査員の負担が大きいことや選出された作品の数に学校差が出ることなどである。また、各部会・各支部ごとに行われる審査は、各学校の先生にその場で直接、審査評やアドバイスなどを伝えることができ参考になったとの意見が多かったが、それができなくなったのも課題である。

文化展の飾り付けや撤去は、速やかに作業することができた。しかし、今年度も作品名簿の児童生徒氏名の記入ミスが数点みられた。提出前に学校ごとに確実に確認する必要がある。

※ 書写

夏季指導者講習会では、元熊本大学教授の森山先生を講師として迎え、基本的筆使いを中心に文化展題材実技講習を行いました。23名の受講者からは、今後の児童生徒への指導に生かしていきたいとの感想を数多くいただきました。

今年度から中学校3年の教科書が変わり、文化展題材も変更になりましたが、先生方のご協力で計画通り実施することができました。天草郡市一括審査では、退職された校長先生方も含め10名の審査員で審査を行いました。優秀賞となった作品には、書き込みの跡が見える素晴

らしい作品が多くありました。児童生徒の頑張り先生方の熱心な指導に感謝いたします。

また、先生方のご理解とご協力のおかげで、全体的に裏打ちがよく見栄えのよい作品となっていました。裏打ちの仕方については、引き続き、夏季指導者講習会でも講習を行っていますのでぜひご参加ください。硬筆部門において、消しゴム使用、二度書き、校名スタンプ漏れ、誤字のある作品がありましたので、要項の確認と指導の徹底をお願いします。

※ 壁新聞

本年度は、4年ぶりに中学校からも11点の応募がありましたが、教育会館に展示したのは1点でした。他の10作品も総合的な学習のまとめとしてよく書かれていましたが、タイトルがないなど「新聞の様式をとっているもの」という規定を満たしていなかったため、展示することができませんでした。作品の制作・応募に当たっては規定をご確認くださいようお願い申し上げます。制作のポイントなど詳しくは本年度の「展示・応募作品一覧」の「選定を終えて」や「作成上の基本的注意事項」をご覧ください。

※ 特別支援学級

特別支援学級の作品展は、今年度も一人一点（または共同制作）の出品で、ほぼすべての児童・生徒の作品を展示することができました。作品の内容も、先生方の指導工夫のおかげで児童生徒のよさが光った作品ばかりで、保護者にも大変好評でした。何よりたくさんの方に見ていただいたことで、児童生徒の自信となったのではないかと思います。特別支援学級に対する理解と啓発ができたのではないかと思います。

今年度も、昨年度より児童生徒数が増えたため、作品や作品票の大きさを規定させてもらいましたが、先生方のご理解とご協力のおかげで、出品されたすべての作品を展示することができました。年々児童生徒数が増加しているので、来年度も展示スペースを考えた作品等の検討をしていきたいと思っています。

そして、今年度も作品返却の際に各部会・各支部の文化部長の教頭先生方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

※ 天草郡市小中学校音楽会

本年度は天草郡市小中学校音楽会と授業研究会の二つの行事を行いました。第60回となった天草郡市小中学校音楽会ですが、会場の天草市民センターの方々、また、各部会・各支部の児童文化部長の先生方のおかげをもちまして無事に終了することができました。心より感謝申し上げます。これまでの長い歴史と伝統を持つ本音楽会ですが、出場各校が十分に練習の成果を発揮して素晴らしい演奏ができていたと思います。来年度以降の児童生徒の更なる飛躍を期待させる内容でした。

反省としては、楽器置き場の不足や保護者観覧席の不足等が挙げられますが、市民体育館の工事が完了する来年度にはある程度解決できると思われます。

授業研究会は、1月17日に河浦小学校・天草中学校・河浦中学校を会場とし、助言者兼講師として元熊本県教育庁義務教育課指導主事、熊本市立長嶺小学校教頭、柴田治穂先生をお迎えして実施いたしました。授業をされた先生方だけでなく、参加者全員が音楽教育に対する考えを深める機会となったと思います。今回の参加者は40名程度でしたが、今後は更に参加者を増やせるように努力していきたいと思っています。

※ 天草郡市中学校英語発表会

天草郡市24校、全ての学校、全ての学年の代表生徒の参加があり、とても有意義な大会となりました。少人数の学校も多く、他の行事との兼ね合いが大変難しい中で、各学校これまで練習してきた成果を十分に発揮し、真剣に、そして、いきいきと発表していました。日本人指導者やALTの熱心な指導のおかげで、発音やイントネーション、感情表現などに創意工夫がみられました。県英語暗唱大会においても、2年生が1位と3位、1年生が5位に入賞すること

ができました。また、司会進行を昨年度2年生で最優秀賞を受賞した生徒が行うなど、生徒主体の大会となりました。

アンケートに書いていただいたご意見を参考に、来年度はさらに充実した発表会となるようにしていきたいと思っています。

＜平成25年度 第73回熊本県科学展物展示会 入賞者＞

賞	作品名	学校名	学年	研究者名
優賞	みかんの皮はすごいぞ！	亀川小	3	山口さん
優賞	キッチンガーデンバジルセットのかんさつ	瀬戸小	3	近藤さん
優賞	くるくる回って長く飛べ！紙とんぼ	上小	4	園田さん
優賞	音の高さのひみつを探るPart 3	登立小	5	山下さん
優賞	おもりの落下と水しぶきの関係	富岡小	6	稲尾さん
優賞	手づくりスピーカーの研究	本渡中	3	井上さん、江上さん、早崎さん
優賞	炎色反応を利用した混色の研究	河浦中	3	佐々木さん、大平さん、井本さん
良賞	セミのよう虫の羽化のひみつ	阿村小	4	牛崎さん
良賞	ダンボールで省エネ住たくを作ろうパートⅡ	島子小	5	余宮さん、山川さん、村木さん
良賞	土砂の吸水性と保湿度を調べる	佐伊津小	6	川上さん
良賞	紙ジャイロを飛ばそう	苓北中	1	平井さん
良賞	液状化現象についての研究	大矢野中	1	千原さん、篠田さん
良賞	バナナの日焼けで予防対策！	本渡中	2	宮口さん
良賞	夏のお弁当の保管について	有明中	2	松田さん、山川さん、杉本さん、尾崎さん

＜平成25年度 第48回熊本県発明工夫展 入賞者＞

賞	作品名	学校名	学年	研究者名
熊本県知事賞	電球交換楽ラク棒	本渡中	2	谷さん
優賞	どこでもとどくまどかぎ開け閉めき	御領鬼池小	5	井上さん
優賞	手作りあく力計	坂瀬川小	5	錦戸さん
優賞	B A B Y腕まくら	上小	6	久保さん、山崎さん
優賞	自動ハサミ	本渡中	2	井上さん

＜平成25年度 学校賞＞

（県の科学展および県の発明工夫展に出展された回数が5の倍数になった学校が表彰）

学 校 名	出品回数	
天草市立河浦中学校	15回	
上天草市立登立小学校	10回	
苓北町立苓北中学校	10回	

＜平成25年度 天草郡市科学展・発明工夫展審査を終えて＞

- ・科学展、発明工夫展ともに、多くの出品があつてよかった。
- ・規格外の作品がなくてよかった。
- ・作品のタイトルと提出名簿が一致していないものがみられた。
- ・テーマの設定をもう少し工夫して欲しい。
- ・調べただけで終わらず、自分なりに発展させた方が良い。
- ・高学年の出品作品は多かったが、低学年が少なかった。
- ・発想はよいが、実験回数が少なく、再現性が低い作品が見られた。
- ・継続して研究をしていただきたい。
- ・表やグラフの表現を工夫すればもっとよくなる作品が多かった。
- ・表やグラフの表題や凡例がきちんとつけてあり、よかった。
- ・パソコンを使つての表やグラフに、発達段階を超えたものが少なかった。
- ・学校名、出品者名を正しく記載してほしい。

（例）〇〇市立(町立)〇〇小学校(中学校)〇年〇〇〇〇 学校名は略称を用いない。

- ・資料にも作品名、学校名、学年、氏名を書いてほしい。審査や返却の際に探すことがあった。
- ・硬貨や釘、食べ物を貼り付けた作品が少なかったのはよかった。
- ・目的、方法、結果、考察という流れがよい作品が多かった。動機は、目的の中に合わせて表現するとよい。また、「感想」で場所をとっている作品があつたが、数行で納めるとよい。考察など、児童生徒が考えたことを多く記載する方がよい。